

日本マクロエンジニアリング 学会シンポジウム 2015

主催：日本マクロエンジニアリング学会（JAMES）
共催：NPO 法人マクロエンジニアリング研究機構（RIMEP）
協賛：株式会社 青南商事
後援：東北大学大学院国際文化研究科国際環境資源政策論講座

地政学的リスクや欧州の経済情勢が予断を許さない中、安倍政権の下、成長戦略が進められています。日本学術会議登録学会（文部科学省学会番号 11151）である日本マクロエンジニアリング学会による本シンポジウムでは「震災復興と廃棄物資源循環」をテーマとして持続可能性の向上に貢献する環境や地域振興に関する研究活動を促進し、国家的・世界的規模での持続可能性改善ビジョンと日本のグランドデザインを描くことを目指します。

日 時 2015年8月22日(土) 13:00~16:30

場 所 株式会社 青南商事 塩竈工場

参加費 送迎貸切バスをご利用の場合は5千円(車内での昼食お弁当つき)
送迎貸し切りバスをご利用にならない場合は無料

プログラム テーマ:「震災復興と廃棄物資源循環」

受付 貸切バス内
開会挨拶 13:00~13:10 安東 元吉 法人会員(株)青南商事 代表取締役
会社・工場説明・見学 13:10~14:00

ポスターセッション 14:00~14:20

東北大学大学院国際文化研究科

初等教育における環境教育のあり方に関する研究-社会科第3・4学年『廃棄物の処理』を事例に- 西出直哉
モンゴル国における廃プラスチックの排出特性と処理方法に関する研究 シンジェー・ポロルチメグ

バートル・エルデネダライ（アジア自動車環境フォーラム日本事務局）・劉庭秀（東北大学大学院）・齋藤優子（日本学術振興会・東北大学大学院）・戸敷浩介（静岡県立大学）・内藤博敬（静岡県立大学）
モンゴル国における輸入中古車の使用状況とリサイクル実態に関する研究

講演1 14:20~14:50 劉 庭秀 東北大学大学院国際文化研究科
文部科学省の復興教育支援事業の成果と課題-宮城県の事例を中心に-

質疑応答 14:50~15:00

講演2 15:00~15:30 齋藤優子 東北大学大学院国際文化研究科
韓国の大都市における都市鉱山事業の新しい展開 日本学術振興会・特別研究員

質疑応答 15:30~15:40

講演3 15:40~16:10 新田義修 岩手県立大学 総合政策学部・地域連携本部
東日本大震災津波による復旧・復興に伴う岩手県沿岸地域における「先端技術」の導入・定着条件
-食料生産地域再生のための先端技術展開事業（先端プロ）を事例として-

質疑応答 16:10~16:20

開会挨拶 16:20~16:30 吉野 文雄 会長(拓殖大学教授)

日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 拓殖大学政経学部 茂木研究室
電話/FAX 03-3947-9204 Eメール <hmotegi@ner.takushoku-u.ac.jp>
UEL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/>



<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。